

お元気ですか つかじさちの

第775号



フレッシュ便

日本共産党高知県議会活動報告コース

2015年 9月 13日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

電気は足りている 再稼働の必要なし

四国電力本部へ 4県の県議団要請



●伊方原発3号機を審査した原子力規制委員会が5月

20日に合格とし、この9月2日には、伊方町の隣市である八幡浜市長が、同市議会6月議会での再稼働反対請願可決を無視し、再稼働了承を愛媛県知事に提出。

8月11日の鹿児島県

の川内原発再稼働に続き伊方原発の再稼働が狙われる緊迫した状況の中、四国四県の党県委員会、県議団は香川県高松市の四国電力本部へ出向き再稼働中止を強く申し入れました。



政府の方針に 沿った再稼働です

●「電気は十分足りている。再稼働の必要性がない」との要請に、『政府の「原発はベースロード電源」との方針に沿ったもの』と、再稼働の責任は政府にあるという態度。一方、その政府は、再稼働の判断は「事業者」であると明言、また、原子力規制委員会は「リスクは残る」と述べ、要するに誰も責任を取らない無責任極まりない態度をとっています。

避難対策の責任は 自治体にあります

●再稼働を判断する四国電力として、避難対策が極めて不十分

である現状をどう考えるのか、世論調査では

69%が反対、リスクが残っているが再稼働許すとの住民合意はどこにあるのか？等に対しては『避難計画は、自治体がきちんとやっている』と、ここでは自治体に責任を転嫁。事業者として利用者への責任ある態度が見られない四国電力、再稼働などもってのほかです。

なるがも日記

No. 773



わが家の裏山に彼岸花が満開！すっかり秋の風情になりました。

国会も27日の開会まであとわずか、日に高まる「戦争法」反対の声を踏みにじって、自、公、権は参院で采通にも強行採決しようとして

います。アメリカとの約束も最後迄、断じて許しません。

13日(日)AM11時から

丸の内緑地公園で反対集会、ぜひ参加下さい！